

# 「高齢者の生活実態と介護サービス等に関する意識調査」

## ご協力のお願い

大阪府では、高齢者の皆さんが、日々の暮らしぶりや介護サービスの内容などに関して、どのように感じておられるかなどをお聞かせいただき、その結果を今後の保健福祉サービスや介護保険制度の運営に活かしたいと考えております。

つきましては、たいへんお手数をおかけしますが、アンケート調査にご協力をお願いいたします。

皆さんへのアンケート調査票の発送につきましては、お住まいの市町村等のご協力をいただいておりますが、お答えいただいた内容は、統計処理のみに利用し、秘密の保持には万全を期しておりますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、裏面に、調査票ご記入に際してのお願い、お問い合わせ先などを記載しておりますので、ご確認ください。

令和4年10月

大阪府

きにゅう さい ねが  
ご記入に際してのお願い

- ご記入は、できる限り、ご本人が記入していただきますようお願いいたします。
- 心身の状態などから、お読みになったり記入することが困難な場合は、ご家族や介護されている方などが読み上げていただき、ご本人の立場から記入いただくなど、ご協力をお願いいたします。
- ご記入の後、同封の返信用封筒に入れ、**無記名のまま**、令和4年10月31日（月曜日）までにご返送いただきますよう、お願いいたします。（切手不要）
- ご不明な点等がございましたら、下記までお問い合わせください。

と あ さき  
《お問い合わせ先》

おおさかふくしぶこうれいかいごしつかいごしえんか  
大阪府福祉部高齢介護室介護支援課

きかくちょうせい  
企画調整グループ

〒540-8570 おおさかしちゅうおうくおおてまえ ちょうめ  
大阪府大阪市中央区大手前2丁目

でんわ ないせん  
電話(06)6941-0351(内線4484)

FAX(06)6941-0513

## 【ご自身のことについて】

**問1** あなた（お送りした封筒のあて名の方のことをいいます。以下同じ。）の性別と年齢について、次のうち、それぞれ当てはまる項目に1つずつ○をつけてください。

《性別》	1	男性	2	女性		
	3	その他（ ）	4	答えたくない		
※記載は任意です						
《年齢》	1	65～69歳	2	70～74歳	3	75～79歳
	4	80～84歳	5	85～89歳	6	90歳以上

**問2** この調査票はどなたが記入されますか。次のうち、当てはまる項目1つに○をつけてください。

1	お送りした封筒のあて名ご本人が記入
2	本人の意思を確認して、ご家族の方などが代わりに記入
3	本人の意思が確認できないので、ご家族の方などが代わりに記入

**問3** あなたの世帯構成について伺います。  
当てはまる項目1つに○をつけてください。

1	一人暮らし
2	夫婦二人暮らし（配偶者も65歳以上）
3	夫婦二人暮らし（配偶者は65歳未満）
4	子どもと同居（世帯全員が65歳以上）
5	子どもと同居（4以外）
6	親族又は友人など同居（世帯全員が65歳以上）
7	親族又は友人など同居（6以外）
8	施設に入所

4～7と答えられた方は同居人数（あなたを含む）をご記入ください。

人

**とい問4** あなたがお住まいの住宅や施設の種類の、次のうちどれにあたりますか。  
 当てはまる項目1つに○をつけてください。  
 (※親族などが所有されているお住まいの場合も、持ち家としてください。)

- 1 持ち家（一戸建て）
- 2 持ち家（マンション・長屋建てなどの共同住宅）
- 3 借家（一戸建て）
- 4 借家（民営の賃貸マンション、アパートなどの共同住宅）
- 5 借家（公団・公社・公営の賃貸住宅）
- 6 有料老人ホーム（住宅型）、サービス付き高齢者向け住宅
- 7 有料老人ホーム（介護付）、養護老人ホーム、軽費老人ホーム（ケアハウス）
- 8 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院
- 9 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
- 10 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )


**とい問5** あなたは、現在、収入を伴う仕事等をしてしていますか。  
 次のうち、主に当てはまる項目1つに○をつけてください。

- 1 自営業
- 2 会社又は団体の役員
- 3 常勤の被雇用者（会社員など）
- 4 非常勤・臨時の被雇用者（パート・アルバイトなど）
- 5 NPO法人での活動等の有償活動・有償サービス（いわゆる“有償ボランティア”を含む）
- 6 その他収入の伴う仕事（具体的に： \_\_\_\_\_ )
- 7 収入の伴う仕事はしていない  
 (例：無職の方、無償の社会参加活動をしている方など)

**とい問6** あなたが<sup>いま</sup>今<sup>す</sup>お住まいの<sup>じゅうたく</sup>住宅<sup>しせつ</sup>や<sup>しよざい</sup>施設<sup>しちようぞん</sup>が所在する市町村はどちらですか。  
 つぎ 次のうち、<sup>あ</sup>当てはまる<sup>こうもく</sup>項目1つに○をつけてください。

1	おおさかし 大阪市	2	とよなかし 豊中市	3	いけだし 池田市	4	すいたし 吹田市
5	みのおし 箕面市	6	たかつきし 高槻市	7	いばらきし 茨木市	8	せつつし 摂津市
9	もりぐちし 守口市	10	ひらかたし 枚方市	11	ねやがわし 寝屋川市	12	だいとうし 大東市
13	かどまし 門真市	14	しじょうなわてし 四條畷市	15	かたのし 交野市	16	やおし 八尾市
17	かしわらし 柏原市	18	ひがしおおさかし 東大阪市	19	とんだばやしし 富田林市	20	かわちながのし 河内長野市
21	まつばらし 松原市	22	はびきのし 羽曳野市	23	ふじいでらし 藤井寺市	24	おおさかさやまし 大阪狭山市
25	さかいし 堺市	26	きしわだし 岸和田市	27	いすみおおつし 泉大津市	28	かいづかし 貝塚市
29	いすみさのし 泉佐野市	30	いすみし 和泉市	31	たかいしし 高石市	32	せんなんし 泉南市
33	はんなんし 阪南市	34	とよのちょう 豊能町	35	のせちょう 能勢町	36	しまとちょう 島本町
37	たいしちょう 太子町	38	かなんちょう 河南町	39	ちはやあかさかむら 千早赤阪村	40	ただおかちょう 忠岡町
41	くまとりちょう 熊取町	42	たじりちょう 田尻町	43	みききちょう 岬町	44	おおさかふが 大阪府外

**とい問7** あなたは<sup>しょう</sup>障がい者<sup>しやてちようとう</sup>手帳等<sup>しよじ</sup>を所持しておられますか。  
 つぎ 次のうち、<sup>あ</sup>当てはまる<sup>こうもく</sup>項目すべてに○をつけてください。

1 <sup>しんたいしやう</sup>身体障がい者<sup>しやてちよう</sup>手帳 

1 と答えた方は、種別もお選びください。

《種別》(1) <sup>しかく</sup>視覚 (2) <sup>ちやうかく</sup>聴覚・<sup>へいこうきのう</sup>平衡機能 (3) <sup>したいふじゆう</sup>肢体不自由

(4) <sup>おんせい</sup>音声・<sup>げんご</sup>言語・<sup>きののう</sup>そしゃく機能 (5) <sup>ないぶしやう</sup>内部障がい

2 <sup>りやういくてちよう</sup>療育手帳

3 <sup>せいしんしやう</sup>精神障がい者<sup>しやほけんふくしてちよう</sup>保健福祉手帳

4 <sup>てちよう</sup>手帳は所持<sup>しよじ</sup>していない



(現在、要介護・要支援認定を受けている方におたずねします。)

**問10** あなたが、要介護・要支援認定を受けられたのはどのような理由からですか。次のうち、主に当てはまる項目1つに○をつけてください。

- 1 訪問介護（ホームヘルプ）など居宅での介護サービスを利用するため
- 2 特別養護老人ホームや介護老人保健施設などに入所するため
- 3 福祉用具貸与・購入や住宅改修を利用するため
- 4 将来に備えて、とりあえず認定を受けておいた方がよいと思ったため
- 5 知人や医療福祉関係者から申請を勧められたため
- 6 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

(現在、要介護・要支援認定を受けている方におたずねします。)

**問11** あなたは、現在、介護サービスを利用していますか。当てはまる項目1つに○をつけてください。（32ページの「【主なサービスのメニュー】参考」に各サービスの詳細を記載しております。）

- 1 利用している → **問12**にお進みください
- 2 利用していない

↓ **2と答えた方は、利用していない理由について、当てはまる項目1つに○をつけてください。**

- (1) 当面は家族などによる介護で十分であるから
- (2) 介護サービス事業所の職員（ホームヘルパー等）など、他人を自宅に入れたくないから
- (3) 現在、病院に入院中であるから
- (4) 利用料が高すぎるから
- (5) 手続きが複雑で面倒そうだから
- (6) 介護サービスの利用方法がわからないから
- (7) どのような介護サービスがあるかわからないから
- (8) 利用したい介護サービスがないから
- (9) 現在は介護サービス利用の必要がないから
- (10) その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

↓ **問14**にお進みください

# 【介護サービスの利用状況について】

(問11で介護サービスを「1 利用している」と回答された方におたずねします。)

問12 あなたが、利用している介護サービスについて、当てはまる項目すべてに

○をつけてください。

(記入例) 2 訪問介護

<利用頻度> 週に4回以上・週に2～3回程度・週に1回程度・月に1～3回程度

1 施設サービス（施設入所）を利用している

2 訪問介護（ホームヘルプ）

<利用頻度> 週に4回以上・週に2～3回程度・週に1回程度・月に1～3回

3 通所介護（デイサービス）

<利用頻度> 週に4回以上・週に2～3回程度・週に1回程度・月に1～3回

4 訪問看護

<利用頻度> 週に4回以上・週に2～3回程度・週に1回程度・月に1～3回

5 通所リハビリテーション（デイケア）

<利用頻度> 週に4回以上・週に2～3回程度・週に1回程度・月に1～3回

6 短期入所（ショートステイ）

<利用頻度> 週に4回以上・週に2～3回程度・週に1回程度・月に1～3回

7 認知症対応型通所介護

<利用頻度> 週に4回以上・週に2～3回程度・週に1回程度・月に1～3回

8 訪問リハビリテーション

<利用頻度> 週に4回以上・週に2～3回程度・週に1回程度・月に1～3回

9 訪問入浴介護

<利用頻度> 週に4回以上・週に2～3回程度・週に1回程度・月に1～3回

10 小規模多機能型居宅介護

<利用頻度> 週に4回以上・週に2～3回程度・週に1回程度・月に1～3回

11 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

<利用頻度> 週に4回以上・週に2～3回程度・週に1回程度・月に1～3回

(※次ページへ続きます。)



(※問12 続き)

12 夜間対応型訪問介護

<利用頻度> 週に4回以上 ・ 週に2～3回程度 ・ 週に1回程度 ・ 月に1～3回

13 医師や歯科医師、薬剤師等による療養上の指導

<利用頻度> 週に4回以上 ・ 週に2～3回程度 ・ 週に1回程度 ・ 月に1～3回

14 看護小規模多機能型居宅介護

<利用頻度> 週に4回以上 ・ 週に2～3回程度 ・ 週に1回程度 ・ 月に1～3回

15 その他生活支援サービス

<利用頻度> 週に4回以上 ・ 週に2～3回程度 ・ 週に1回程度 ・ 月に1～3回

16 その他のサービス ( )

※32 ページの「【主なサービスのメニュー】参考」に各サービスの詳細を記載しておりますので、ご参照ください。

(問11で介護サービスを「1 利用している」と回答された方におたずねします。)

**問13** あなたは、現在、利用している介護サービスの内容に満足していますか。  
次のうち、当てはまる項目 1 つに○をつけてください。

- 1 満足
- 2 どちらかという満足
- 3 どちらでもない
- 4 どちらかという不満
- 5 不満

4、5と答えた方は、次のうち、当てはまる項目すべてに○をつけてください。

<不満な理由>

- (1) 利用できる回数や日数が少ない
- (2) 自己負担額が高い
- (3) 予約が一杯で、希望する日時に介護サービスを利用できない
- (4) 希望する施設に入所したいのに、定員が一杯で入所できない
- (5) 職員や担当者の介護技術や知識が足りない
- (6) 職員や担当者の接し方が悪い(配慮が足りない)
- (7) 事前説明が不十分で予想していた内容と違った
- (8) その他(具体的に: )

## 【介護サービスの利用について】

**問14** 介護サービスを利用する際のあなたの考え方について、次のうち、**もっとも**  
**あ**当てはまる項目1つに○をつけてください。

- 1 認定された範囲内に関わらず、できるだけ多くの介護サービスを利用したい
- 2 認定された範囲内で、できるだけ多く介護サービスを利用したい
- 3 できることは自分や家族で行い、行き届かない部分のみ必要な介護サービスを利用したい
- 4 介護サービスは利用したくない
- 5 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

かいごよぼう けんこう  
【介護予防・健康づくりについて】

問15 要介護・要支援状態の重度化や要介護状態になることをできる限り防ぐためには、適度な運動や社会参加、栄養バランスを考えた食事等を心がけることが重要だといわれています。

あなたは、病気の予防や健康づくりのために、どういったことに取り組まれていますか。次のうち、**当てはまる項目すべてに○をつけてください**。また、その取組みはどの年代から始められましたか。**当てはまるものに○をつけてください**。

(記入例) ② バランスの良い食事をとっている

<取組期間> 40代以前から ・ 50代から ・ 60代から ・ 70代以降から

1 定期的に歩いたり運動したりするなど足腰をきたえている

<取組期間> 40代以前から ・ 50代から ・ 60代から ・ 70代以降から

2 バランスの良い食事をとっている

<取組期間> 40代以前から ・ 50代から ・ 60代から ・ 70代以降から

3 歯磨きなど口腔ケアに努めている

<取組期間> 40代以前から ・ 50代から ・ 60代から ・ 70代以降から

4 タバコを吸っていない(または、タバコを吸うのをやめた)

<取組期間> 40代以前から ・ 50代から ・ 60代から ・ 70代以降から

5 お酒の飲みすぎに注意している(または、お酒を飲んでいない)

<取組期間> 40代以前から ・ 50代から ・ 60代から ・ 70代以降から

6 定期的に健康診断を受診している

<取組期間> 40代以前から ・ 50代から ・ 60代から ・ 70代以降から

7 趣味を持っている

<取組期間> 40代以前から ・ 50代から ・ 60代から ・ 70代以降から

8 学習活動(公的機関・学校等の講座受講や自宅学習等)を行っている

<取組期間> 40代以前から ・ 50代から ・ 60代から ・ 70代以降から

9 地域の行事や活動に積極的に参加している

<取組期間> 40代以前から ・ 50代から ・ 60代から ・ 70代以降から

10 ボランティア活動をしている

<取組期間> 40代以前から ・ 50代から ・ 60代から ・ 70代以降から

11 その他(具体的に: )

<取組期間> 40代以前から ・ 50代から ・ 60代から ・ 70代以降から

12 特にない(理由: )

**問16** お住まいの地域で実施されている健康体操や趣味の集い等に参加したいと

おも  
思いますか。次のうち、**当てはまる項目1つに○**をつけてください。

- 1 げんざい さんか  
現在、参加している
- 2 さんか げんざい さんか  
参加したい（現在、参加していない）
- 3 さんか おも  
参加したいと思わない
- 4 とちゅう  
途中でやめた
- 5 じっし  
実施されていたことを知らなかった

1、2と答えた方は、次のうち、**当てはまる項目すべてに○**をつけてください。

さんか さんか かつどう  
<参加している・参加したい活動>

- (1) たいそう うんどうとう かつどう  
体操・運動等の活動
- (2) しゅみ つど  
趣味の集い
- (3) ボランティア活動、ちいきかつどう  
ボランティア活動、地域活動
- (4) しょくじかい  
食事会
- (5) その他（具体的に： )

2、3、4と答えた方は、次のうち、**当てはまる項目すべてに○**をつけて  
ください。

げんざい さんか りゆう  
<現在、参加していない理由>

- (1) みんかん サービスをりゆう  
民間のサービスを利用しているから
- (2) じぶんじしん けんこう かいごよぼう とく  
自分自身で健康づくり、介護予防に取り組んでいるから
- (3) しんがた とうかんせんしょう えいきょう  
新型コロナウイルス等感染症による影響のため
- (4) いそが  
忙しいから
- (5) にんげんかんけい かん  
人間関係がわずらわしく感じるから
- (6) きょうみ も  
興味が持てないから
- (7) けいぞくてき かよ たいへん  
継続的に通うことが大変だから
- (8) ある い みちが  
歩いて行ける身近なところがないから
- (9) その他（具体的に： )



ちいきほうかつしえん  
【地域包括支援センターについて】

とい  
問18 あなたは、「地域包括支援センター\*」を知っていますか。次のうち、当てはまる項目1つに○をつけてください。

- 1 知っており、相談・利用したことがある
- 2 知っているが、相談・利用したことはない
- 3 名称を聞いたことはあるが、何をしているところかは知らない
- 4 まったく知らない

1と答えた方は、次のうち、当てはまる項目すべてに○をつけてください。

<相談・利用したことがあるもの>

- (1) 高齢者の健康・福祉・医療に関する様々な相談
- (2) 高齢者虐待への対応などの高齢者の権利を守るための相談や支援
- (3) 介護予防ケアプランの作成（介護予防サービスや総合事業サービスを利用するためのケアマネジメント）
- (4) 地域包括支援センターが主催する出前講座などの各種イベントへの参加
- (5) その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

\* 地域包括支援センターの役割について

- ・高齢者の健康・福祉・医療に関する様々な相談の受付、関係機関への引き継ぎ
- ・高齢者虐待への対応などの高齢者の権利を守る取り組み
- ・介護予防ケアプランの作成（介護予防ケアマネジメント）
- ・地域のネットワークづくり
- ・地域のケアマネジャーの支援 など

こうれいしゃぎやくたい ほうし  
【高齢者虐待の防止について】

とい  
問19 つぎ こうれいしゃぎやくたい あ おも こうもく  
次のうち、あなたが高齢者虐待に当てはまると思う項目すべてに○をつけて  
ください。

- 1 こうれいしゃ はな かぞく むし  
高齢者が話しかけてくるのを家族が無視する
- 2 ひつよう しょくじ はい せわ かいご  
必要な食事、排せつなどの世話・介護をしない
- 3 はい しっぱい とき ばつ はだか ほうち  
排せつの失敗をした時、罰として裸にして放置する
- 4 こうれいしゃ ねんきん よきん ほんにん いし はん かぞく つか  
高齢者の年金や預金を本人の意思に反して家族が使う
- 5 にちじょうせいかつ ひつよう きんせん かぞく こうれいしゃ わた  
日常生活に必要な金銭を家族が高齢者に渡さない
- 6 その他（具体的に：）
- 7 わからない



にんちしょう  
【認知症について】

とい  
問20 げんざい こうれいしゃ やく にん り にんちしょう すいけい にんちしょう  
現在、高齢者の約6人に1人が認知症と推計されています。このように認知症  
はだれもがなりうるものであり、かぞく ゆうじん にんちしょう  
家族や友人が認知症になることなどを含め、  
おお ひと にんちしょう みちか  
多くの人にとって認知症は身近なものになっています。

あなたは、にんちしょう、あるいはにんちしょう ひと たい  
認知症、あるいは認知症の人に対してどのようなかんが  
えをおもちで  
すか。つぎ  
次のうち、あてはまる項目すべてに○をつけてください。

- 1 じぶん にんちしょう  
自分が認知症になったら、みちか ひと たす きょたく う  
身近な人の助けや、居宅サービスを受けながら、  
じたく せいかつ つづ  
自宅での生活を続けたい
- 2 じぶん にんちしょう  
自分が認知症になったら、じたく せいかつ つづ びょういん しせつ  
自宅で生活を続けるよりも、病院や施設に  
にゅうしょ  
入所させてほしい
- 3 じぶん にんちしょう  
自分が認知症になったら、きんじょ ひと し  
近所の人にはあまり知られたくない
- 4 にんちしょう  
認知症になっても、ひと いし かぎ さんちよう  
その人の意思はできる限り尊重されるべきだ
- 5 みちか にんちしょう ひと  
身近に認知症の人がいたら、せわ  
お世話をしてあげたい
- 6 にんちしょう ひと  
認知症の人に、どのようにせつ  
接したらよいのかわからない
- 7 にんちしょう ひと  
認知症の人とは、いまかか  
今関わりがない
- 8 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

とい  
問21

にんちしょう こと を ただ 正しく 理解し、にんちしょう ひと その 家族の 応援者となる

「にんちしょう サポーター\*」が ぜんこく 全国で 多数 養成されています。

「にんちしょう サポーター」は、にんちしょう たい 認知症に対する 正しい 知識と 理解を持ち、ちいき 地域や しょくいぎ 職域で にんちしょう ひと その 家族の方の 見守りや 手助けをする 活動を行っています。

あなたは、にんちしょう サポーターの 活動を知っていますか。つぎ 次のうち、あて はまる 項目 1つに○をつけてください。

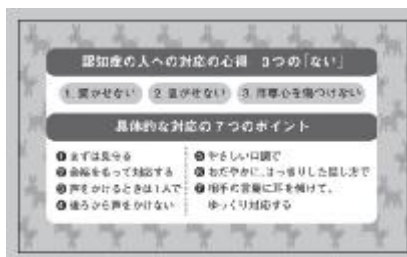
- 1 「にんちしょう サポーター」の 活動内容について 知っている
- 2 「にんちしょう サポーター」の 名前は 知っている
- 3 「にんちしょう サポーター」の ことは 知らない

とい  
問21-2

「にんちしょう サポーター」の 活動について、つぎ 次のうち、あて はまる 項目 すべてに○をつけてください。

- 1 「にんちしょう サポーター」の 役割は 重要だ と思う
- 2 「にんちしょう サポーター」に なって みたい と思う
- 3 すでに 「にんちしょう サポーター」として 活動している
- 4 「にんちしょう サポーター」 養成講座は 受講したが 活動していない
- 5 「にんちしょう サポーター」の 手助けを受けた ことがある
- 6 「にんちしょう サポーター」の 手助けを受けた ことはない
- 7 その他 ( )

\* にんちしょう サポーターについて  
にんちしょう サポーターには、てくび 手首につける オレンジリングや、オレンジの ロバの バッチ、オレンジの ロバの カードなどを 配付しています。



\* 記載の 認知症サポーターカードは 大阪府の 認知症サポーターカードです。 各市町村等 で配付しているものとは 異なります。

とい  
問22

せいねんこうけんせいど にんちしょうこうれいしゃ はんだんのうりよく じゅうぶん かた にちじょうせいかつ  
成年後見制度は、認知症高齢者など判断能力が十分でない方が、日常生活

ふりえきう ほんにん けんり まも えんじょ せいど  
において不利益を受けることのないよう、本人の権利を守り援助する制度です。

あなたは、せいねんこうけんせいど について 知っていますか。つぎのうち、あてはまる項目

1つに○をつけてください。

- 1 すで りよう 既にご利用している
- 2 ひつよう 必要になれば こんごりよう 今後利用したい
- 3 し 知っているが、りよう 利用したいと思わない
- 4 き 聞いたことはあるが、ないよう 内容までは知らない
- 5 まったく し 知らない

3と答えた方は、つぎのうち、あてはまる項目すべてに○をつけてください。

<りよう したいと思わない理由>

- (1) せいど 制度がわかりづらいから
- (2) せいど りよう 制度を利用する際の さい てつづ 手続きが大変だから
- (3) ひようふたん 費用負担があるから
- (4) だれ こうけんにん 誰が後見人になるか 不安だから (たにん さいさんじょうきょう せいかつじょうきょう し 他人に財産状況・生活状況を知ら  
れたくないから)
- (5) せいど じたい 制度自体に反対だから
- (6) その他 ( )

にちじょうせいかつ じょうきょう  
【日常生活の状況について】

とい  
問23 あなたは、日々充実感をもって生活をおくっていますか。次のうち、  
あ 当てはまる項目1つに○をつけてください。

- 1 たいへん充実感がある
- 2 どちらかという充実感がある
- 3 どちらかという充実感がない
- 4 まったく充実感がない

とい  
問24 あなたが、現在、生きがいを感じていることはどのようなことですか。  
つぎ 次のうち、あ 当てはまる項目すべてに○をつけてください。

- 1 仕事
- 2 趣味の活動
- 3 学習や教養を高めるための活動
- 4 ボランティア活動・地域活動
- 5 スポーツ活動、健康づくり
- 6 友人・知人との交流
- 7 孫や子ども、若者などとの交流
- 8 SNS\*を活用した交流
- 9 その他（具体的に： ）
- 10 特にない

エヌ エヌ エヌ ソーシャル ネットワーキング サービス  
\* SNS (social networking service) について  
フェイスブック ツイッター ライン インスタグラム など、インターネット上の会員制サ  
ービスの一種。友人・知人間のコミュニケーションを円滑にする手段や、新たな  
人間関係を構築するための場を提供する。

とい  
**問25** あなたは、日々の暮らし向きについてどのように感じていますか。  
次のうち、当てはまる項目1つに○をつけてください。

- |              |            |
|--------------|------------|
| 1 たいへんゆとりがある | 2 ややゆとりがある |
| 3 普通である      | 4 やや苦しい    |
| 5 たいへん苦しい    |            |

とい  
**問26** あなたは、現在、日常生活でどのような不安や悩みを抱えていますか。  
次のうち、当てはまる項目すべてに○をつけてください。

- |  |   |
|--|---|
| 1 人間関係（家族、隣近所、友人など）のこと                   |   |
| 2 話し相手がないこと                              |   |
| 3 自分の健康状態や生活習慣病などの病気のこと                  |   |
| 4 新型コロナウイルス等感染症に感染すること                   |   |
| 5 自分の介護のこと                               |   |
| 6 身近な家族の健康状態や病気のこと                       |   |
| 7 身近な家族の介護のこと                            |   |
| 8 通知やお知らせ、情報がわからないこと                     |   |
| 9 生活費や財産のこと                              |   |
| 10 家事のこと                                 |   |
| 11 新型コロナウイルス等感染症による暮らしへの影響のこと<br>(具体的に：) | ) |
| 12 その他(具体的に：)                            | ) |
| 13 特にない                                  |   |



**問29** あなたは、今後、自分で身の回りのことができなくなった場合や、人生の最期を迎える時にどのような暮らしをおくりたいですか。次のうち、**当てはまる項目1つ**に○をつけてください。

- 1 自宅で、介護サービスを受けずに、家族などの介護を受けて暮らしたい
- 2 自宅で、介護サービスを受けて暮らしたい
- 3 「認知症高齢者グループホーム」などの地域に密着したサービスを受けて暮らしたい
- 4 「有料老人ホーム」や「サービス付き高齢者向け住宅」などの高齢者向け住宅に入居して暮らしたい
- 5 「特別養護老人ホーム」などの介護保険施設に入所して暮らしたい
- 6 医療機関に入院したい
- 7 わからない

**問30** あなたは、自宅で療養しながら、最期まで過ごすことができると思いますか。次のうち、**当てはまる項目1つ**に○をつけてください。

- 1 できると思う
- 2 難しいと思う
- 3 わからない

**2と答えた方は、次のうち、当てはまる項目すべてに○をつけてください。**

- < 難しいと思う理由 >
- (1) 介護してくれる家族に負担がかかる
  - (2) 家族の理解が得られない
  - (3) 住まいの環境が整っていない
  - (4) 症状が急に悪くなったときに不安がある
  - (5) 経済的に負担が大きい
  - (6) 訪問診療をする医師が見つからない
  - (7) 訪問看護をする看護師が見つからない
  - (8) 介護・看護をしてくれる人がいない
  - (9) 居宅サービスが十分でない
  - (10) その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )





とい  
問32 あなたが自分で外出する頻度について、当てはまる項目すべてに○をつけて  
ください。

(記入例) 1 仕事  
週に4回以上・週に2～3回程度・週に1回程度・月に1～3回程度・ほとんどない

1 仕事

週に4回以上・週に2～3回程度・週に1回程度・月に1～3回程度・ほとんどない

2 買い物

週に4回以上・週に2～3回程度・週に1回程度・月に1～3回程度・ほとんどない

3 外食（喫茶店などの軽食も含む）

週に4回以上・週に2～3回程度・週に1回程度・月に1～3回程度・ほとんどない

4 散歩

週に4回以上・週に2～3回程度・週に1回程度・月に1～3回程度・ほとんどない

5 孫の世話や、子ども、親せき、友人を訪問する用事

週に4回以上・週に2～3回程度・週に1回程度・月に1～3回程度・ほとんどない

6 外出を伴う文科系の趣味・娯楽（映画鑑賞、観光、カラオケ等の娯楽関係含む）

週に4回以上・週に2～3回程度・週に1回程度・月に1～3回程度・ほとんどない

7 スポーツ系の趣味・娯楽（競技場でのスポーツ観戦含む）

週に4回以上・週に2～3回程度・週に1回程度・月に1～3回程度・ほとんどない

8 ボランティア活動・地域活動

週に4回以上・週に2～3回程度・週に1回程度・月に1～3回程度・ほとんどない

2と答えた方は、次のうち、当てはまる項目1つに○をつけてください。

<主な移動手段>

- (1) 徒歩
- (2) 車いす（電動車いす）
- (3) 自転車
- (4) 自分で自動車やバイクを運転
- (5) 公共交通機関
- (6) 家族が運転する自動車やタクシー
- (7) 自分では移動手段を持たない
- (8) 住民主体の移動サービス
- (9) その他（具体的に： )

ちいき あんぜん あんしん  
【地域における安全・安心について】

---

とい  
問33 あなたがお住まいの地域で生活する際に、周りから必要な手助けを受けるこ  
とができるなど、安心して暮らすことができると感じていますか。次のうち、当  
てはまる項目 1 つに○をつけてください。

- 1 安心して暮らすことができる
- 2 どちらかというと安心して暮らすことができる
- 3 どちらかというと安心して暮らすことができない
- 4 まったく安心して暮らすことができない

とい

**問34** あなたが、<sup>こま</sup>困ったことや<sup>ふあん</sup>不安なことを<sup>そうだん</sup>相談できる相手はどのような<sup>ひと</sup>人ですか。  
<sup>つぎ</sup>次のうち、<sup>あ</sup>当てはまる<sup>こうもく</sup>項目すべてに○をつけてください。

- 1 <sup>かぞく しんるい</sup> 家族・親類
- 2 <sup>となりきんじょ ひと じち かい ちょうないかい ひと</sup> 隣近所の人、自治会、町内会の人
- 3 <sup>ちじん ゆうじん</sup> 知人・友人
- 4 <sup>いし しか ぶく</sup> かかりつけの医師（歯科を含む）
- 5 <sup>やっきょく</sup> かかりつけの薬局
- 6 <sup>みんせい いいん</sup> 民生委員
- 7 ケアマネジャー
- 8 <sup>しちょうそん しょくいん</sup> 市町村の職員
- 9 <sup>ちいき ほうかつしえん しょくいん</sup> 地域包括支援センターの職員
- 10 <sup>しちょうそん しゃかい ぶくしきょうぎ かい しょくいん</sup> 市町村社会福祉協議会の職員
- 11 <sup>りんほかん ろうじん ぶくし しょうだん いん</sup> 隣保館や老人福祉センターなどの相談員
- 12 コミュニティソーシャルワーカー（CSW\*）
- 13 <sup>かいご じぎょうしょ せせつ しょくいん とう</sup> 介護サービス事業所や施設の職員など（ホームヘルパー等）
- 14 <sup>かいご しょうだん いん</sup> 介護サービス相談員\*
- 15 <sup>せいかつしえん</sup> 生活支援コーディネーター\*
- 16 その他（<sup>た ぐたいてき</sup>具体的に： \_\_\_\_\_ ）
- 17 <sup>とく</sup> 特にいない

\*コミュニティソーシャルワーカー（CSW）について

<sup>ひとりく こうれいしゃ しょう しゃ ぶくしてき しえん よう かたがた しょうだん おう</sup>  
一人暮らし高齢者、障がい者など福祉的な支援を要する方々からの相談に応じ、  
<sup>ひつよう きかん かいけつ はか とりく おこな ぶくし せんもんしよく</sup>  
必要なサービスや機関へつなぎ、解決を図る取組みを行う福祉の専門職のことです。

\*介護サービス相談員について

<sup>かいご しょうだん いん</sup>  
介護サービスの提供の場を訪ね、サービス利用者の話を伺い、相談に応じる等の  
<sup>かつどう おこな ひと りようしゃ ぎもん ふまん ふあん かいしょう はか かいご</sup>  
活動を行う人です。利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに、介護サービスの  
<sup>しつてき こうじょう はか</sup>  
質的な向上を図ります。

\*生活支援コーディネーターについて

<sup>せいかつしえん</sup>  
生活支援コーディネーターは、<sup>こうれいしゃ せいかつしえん かいごよほう たいせい</sup>  
高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制  
<sup>せいび すいしん もくてき ちいき こま しゃかいしげん はあく せいかつ</sup>  
整備を推進していくことを目的に、地域の困りごとや社会資源を把握し、生活  
<sup>しえん かいごよほう ていきょうたいせい こうちく む きのう は</sup>  
支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果  
<sup>やくわり にな</sup>  
たす役割を担っています。

とい  
問35 ちいき こうれいしゃ たが ささ あ なに  
地域で高齢者が互いに支え合うことをめざすとすれば、あなたは、何が  
できますか。次のうち、当てはまる項目すべてに○をつけてください。

- 1 ほか こうれいしゃ はな あいて  
他の高齢者の話し相手
- 2 ほか こうれいしゃ にちようひん か もの だ てつた  
他の高齢者の日用品の買い物やゴミ出しの手伝い
- 3 ほか こうれいしゃ がいしゅつじ つ そ  
他の高齢者の外出時の付き添い
- 4 ひとりぐ こうれいしゃ こえ あんびかくにん  
一人暮らしの高齢者などへの声かけ（安否確認）
- 5 きんじょ こま こうれいしゃ ぐたいてき かだい そうだんきかん し  
近所で困っている高齢者の具体的な課題を相談機関に知らせる
- 6 ろうじん ちいき つど ちいきかつどう せっきょくてき さんか  
老人クラブや地域の集いなどの地域活動に積極的に参加する
- 7 くるま そうげい こうれいしゃ いどうしえん  
車での送迎など高齢者の移動支援
- 8 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
- 9 とく  
特にない

とい  
問36 あなたは、じしん たいふう じぜんさいがい ひなんじょ に  
あなたは、地震や台風などの自然災害があったとき、避難所などへ、どう逃げ  
るか、考えていますか。次のうち、当てはまる項目すべてに○をつけてくださ  
い。

- 1 じぶん に  
自分で逃げることができる
- 2 かぞく しんるい たす き おち  
家族・親類が助けに来てくれると思う
- 3 ふだん となりきんじょ ひと じちかい ちょうないかい ひと たす  
普段からつきあいのある隣近所の人、自治会、町内会の人が助けてくれる  
と思う
- 4 しちょうそんやくば そうだん ひなんこうどうようしえんしゃしえんけいかく とうろくせいど たす  
市町村役場と相談して「避難行動要支援者支援計画（登録制度）\*」で助けて  
くれるよう登録している
- 5 しせつ しょくいん たす  
施設の職員が助けてくれる
- 6 ひとり たす おち  
ボランティアの人が助けてくれると思う
- 7 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
- 8 かんが  
考えたことがない

ひなんこうどうようしえんしゃしえんけいかく とうろくせいど  
\* 避難行動要支援者支援計画（登録制度）について

しちょうそん さいがい とき えんご よう こうれいしゃ しょう しゃ とうろく ひなんじょ  
市町村が、災害があった時に援護を要する高齢者や障がい者などを登録し、避難所へ  
ゆうどう あんびかくにん えんかつ おこな ひとり つく けいかく  
の誘導や安否確認などを円滑に行えるよう一人ひとりにあわせて作った計画、またはそ  
のせいど  
の制度のことをいいます。

じょうほうしゅうしゅう  
【情報収集について】

とい  
問37 あなたが趣味やサークル活動、介護や生活支援などの行政サービスの情報  
収集手段として利用するものは何ですか。

それぞれについて、当てはまる項目すべてに○をつけてください。

＜趣味やサークル活動について＞

- 1 家族、友人、隣近所の人、自治会、町内会の人との会話
- 2 大阪府や市町村のホームページ
- 3 府政だよりや市町村の広報誌
- 4 役場や図書館などの公共施設に配架されているチラシや冊子
- 5 役場や公共施設の窓口担当者
- 6 地域包括支援センターの担当者
- 7 食品スーパーや商業施設などに配架されているチラシやフリーペーパー
- 8 駅などの交通機関に配架されているチラシやフリーペーパー
- 9 行政機関のメールマガジン
- 10 テレビ、新聞、ラジオ
- 11 インターネット検索（スマートフォンなど）
- 12 SNS（Facebook、Twitter、LINE、Instagram など）
- 13 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
- 14 情報収集は行っていない

（※次ページへ続きます。）

(※問37 続き)

<介護や生活支援などの行政サービスについて>

- 1 家族、友人、隣近所の人、自治会、町内会の人との会話
- 2 大阪府や市町村のホームページ
- 3 「介護サービス情報公表システム\*」などの国のホームページ
- 4 府政だよりや市町村の広報誌
- 5 役場や図書館などの公共施設に配架されているチラシや冊子
- 6 役場や公共施設の窓口担当者
- 7 地域包括支援センターの担当者
- 8 食品スーパーや商業施設などに配架されているチラシやフリーペーパー
- 9 駅などの交通機関に配架されているチラシやフリーペーパー
- 10 行政機関のメールマガジン
- 11 テレビ、新聞、ラジオ
- 12 インターネット検索（スマートフォンなど）
- 13 SNS（Facebook、Twitter、LINE、Instagram など）
- 14 その他（具体的に： ）
- 15 情報収集は行っていない

\* 「介護サービス情報公表システム」について

介護サービスを利用しようとしている方の事業所選択を支援することを目的として、日本全国の「介護サービス事業所」の情報について、インターネットを通じて公表しています。

とい  
問38

あなたは、どのような情報通信機器をお持ちですか。  
次のうち、当てはまる項目すべてに○をつけてください。

- 1 固定電話
- 2 FAX
- 3 テレビ
- 4 ラジオ
- 5 携帯電話（スマートフォン\*を除く）
- 6 スマートフォン\*
- 7 タブレット端末（iPad、Galaxy Tabなど）
- 8 パソコン
- 9 インターネットに接続できるゲーム機  
（PlayStation4、Nintendo Switchなど）
- 10 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）  
（例：インターネットに接続できる機器（iPod、腕時計型情報端末など））
- 11 保有していない

\*スマートフォンについて

本アンケートにおいて、スマートフォンとは「従来の携帯電話に比べてパソコンに近い性質を持った情報機器で、パソコン向けのWebサイトや動画の閲覧、アプリケーションの追加、タッチパネルによる直感的操作ができる物」のこととしています。

例

スマートフォン



従来の携帯電話



## 【今後、重要になると思われる施策について】

とい  
**問39** あなたは、高齢者が個性と主体性を発揮し、生き生きと暮らし続けることのできる社会を築いていくためには、どのような施策が重要とご思いますか。  
次のうち、より大切だと思える項目3つに○をつけてください。

- 1 居宅サービスの充実（訪問介護やデイサービスなど）
- 2 特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実
- 3 病院や診療所の充実
- 4 生活支援サービスの充実（配食、見守りなど）
- 5 身近な地域社会の中で、高齢者の生活を支える体制づくり
- 6 健康づくり、介護予防事業の充実
- 7 ひとり歩きで道に迷った際の対応など認知症対策の充実
- 8 日常的に利用できる相談窓口の充実
- 9 学習・文化・スポーツ活動への支援
- 10 見守り付きの高齢者住宅の住み替え支援などの充実
- 11 高齢者の働く場の確保や職業紹介の充実
- 12 高齢者の生きがい、居場所づくりの支援
- 13 ボランティア活動・地域活動の支援
- 14 その他（具体的に：）

きょうりょく  
ご協力ありがとうございました。

きにゅうも  
記入漏れがないか、もう一度お確かめのうえ、返信用封筒に入れて、無記名のまま、  
れいわ ねん がつ にち げつようび へんそう  
令和4年10月31日（月曜日）までにご返送ください。



おも  
【主なサービスのメニュー】参考

さんこう

※介護サービスの利用については、ケアマネジャーや市町村にお問い合わせください。

○ 居宅でのサービス

1	<p>訪問介護 (ホームヘルプ) 訪問型サービス (地域支援事業)</p>	<p>ホームヘルパーなどが自宅を訪問して、食事・入浴・排せつなどの介護や炊事・洗濯・掃除などの援助をします。</p>
2	<p>訪問入浴介護</p>	<p>介護職員や看護師が浴槽を積んだ入浴車等で自宅を訪問して、入浴の介護をします。</p>
3	<p>訪問看護</p>	<p>医師の指示で看護師などが自宅を訪問して、療養状況の確認や、診療に必要な補助を行います。</p>
4	<p>訪問リハビリテーション</p>	<p>医師の指示で理学療法士や作業療法士などが自宅を訪問して、リハビリテーションを行います。</p>
5	<p>居宅療養管理指導</p>	<p>医師、歯科医師、薬剤師などが自宅を訪問して、療養上の管理や指導を行います。</p>
6	<p>通所介護 (デイサービス) 通所型サービス (地域支援事業)</p>	<p>日帰りでデイサービスセンターなどに通い、食事・入浴の提供、機能訓練などを行います。</p>
7	<p>通所リハビリテーション(デイケア)</p>	<p>日帰りで介護老人保健施設や病院・診療所に通い、リハビリテーションを行います。</p>
8	<p>福祉用具の貸与 (レンタル)</p>	<p>日常生活の自立を助けるために福祉用具の貸与を受けることができます。 (レンタルの主な品目) 車いす、特殊寝台、手すり、歩行器、歩行補助つえ、体位変換器、認知症老人徘徊感知機器など</p>
9	<p>福祉用具の販売</p>	<p>福祉用具のうち入浴又は排せつに使用する用具を購入した場合、年間10万円を限度として購入費用を支給します。</p>

10	じゅうたくかいしゅうひしきゅう <b>住宅改修費支給</b>	じりつ かいご す <b>自立や介護をしやすい住まいにするための小規模な住宅</b> かいしゅう まんえん げんと しきゅう <b>改修に20万円を限度として支給します。</b> れい て とりつ たんき かいしゅう <b>(例：手すりの取付けや段差の解消など)</b>
11	たんきにゅうしょ <b>短期入所</b> (ショート ステイ)	たんき <b>短期</b> にゅうしょ <b>入所</b> せいかつ <b>生活</b> かいご <b>介護</b> たんき <b>短期</b> にゅうしょ <b>入所</b> りょうよう <b>療養</b> かいご <b>介護</b> かいごろうじんふくしせつ しせつ たんきかんにゅうしょ にゅうよく はい <b>介護老人福祉施設などの施設に短期間入所して、入浴・排せ</b> しょくじどう かいご きのうくんれん おこな <b>つ・食事等の介護や機能訓練などを行います。</b> かいごろうじんほけんしせつ しせつ たんきかんにゅうしょ かんご <b>介護老人保健施設などの施設に短期間入所して、看護・</b> いがくてき かんり かいご きのうくんれん たひつよう いりよう <b>医学的な管理のもとで、介護、機能訓練その他必要な医療や</b> かんご おこな <b>看護を行います。</b>

じょうきいがい す ちいき はいしよく さまざま ちいきしえんじぎょう  
 ※上記以外に、お住まいの地域によっては配食サービスなど様々な地域支援事業を  
 じっし  
 実施していることがあります。

## ちいきみっちゃんぐがた ○ 地域密着型サービス

1	ていきじゅんかい すいじたいおう <b>定期巡回・随時対応</b> がたほうもんかいご かんご <b>型訪問介護看護</b>	じかんあんしん じたく せいかつ <b>24時間安心して自宅で生活できるように、ホームヘルパー</b> かんごし にちちゅう やかん つう いちにちすうかい ていきほうもん <b>や看護師などが日中・夜間を通じて、一日数回の定期訪問</b> すいじたいおう おこな <b>と随時対応を行います。</b>
2	やか かんたいおうがた <b>夜間対応型</b> ほうもんかいご <b>訪問介護</b>	やかん ていきてき じゅんかいほうもん また すいじつほう う <b>夜間に、定期的な巡回訪問により、又は随時通報を受け、</b> じたく しょくじ にゅうよく はい えんじょ おこな <b>自宅で食事・入浴・排せつなどの援助を行います。</b>
3	ちいきみっちゃんぐがた <b>地域密着型</b> つうしょかいご <b>通所介護</b>	りょうていいん めいいか じょくじ <b>利用定員18名以下のデイサービスセンターなどで、食事・</b> にゅうよく ていきよう きのうくんれん おこな <b>入浴の提供、レクリエーションなどの機能訓練を行います。</b>
4	にんちしょうたいおうがた <b>認知症対応型</b> つうしょかいご <b>通所介護</b>	にんちしょう ひと しょくじ にゅうよく <b>認知症の人に、デイサービスセンターなどで食事・入浴・</b> はい かいご きのうくんれん おこな <b>排せつなどの介護や機能訓練などを行います。</b>
5	しょうきぼたきのうがた <b>小規模多機能型</b> きょたくかいご <b>居宅介護</b>	りょうじゅ せんたく おう つうしょ ほうもん ど く あ <b>利用者の選択に応じ、通所や訪問、泊まりを組み合わせ、</b> しょくじ にゅうよく はい かいご きのうくんれん おこな <b>食事・入浴・排せつなどの介護や機能訓練などを行います。</b>

<p>6 認知症対応型 共同生活介護 (グループホーム)</p>	<p>認知症のために介護を必要とする方が、小人数で共同生活を行い、介護や機能訓練などを行います。</p>
<p>7 地域密着型 介護老人福祉施設 入所者生活介護</p>	<p>入所定員29名以下の小規模な特別養護老人ホームで、日常生活上の世話、機能訓練などのサービスを受けながら生活します。(原則、要介護3以上の方が利用できます。)</p>
<p>8 看護小規模 多機能型居宅介護 (複合型サービス)</p>	<p>訪問看護と小規模多機能型居宅介護を組み合わせるサービスです。</p>

＊地域密着型サービスについて  
高齢者が要介護・要支援状態となっても、できるだけ住み慣れた地域で生活が続けられるように設けられたサービスです。原則としてお住まいの市町村のサービスのみ利用することができます。

## ○施設サービス

<p>1 介護老人福祉施設 (特別養護老人 ホーム)</p>	<p>常に介護が必要で自宅での生活が困難な方が入所し、日常生活上の世話、機能訓練などのサービスを受けながら生活します。(原則、要介護3以上の方が利用できます。)</p>
<p>2 介護老人保健施設 (老健)</p>	<p>病状が安定しており、リハビリテーションや看護・介護を必要とする方が入所し、在宅復帰をめざします。</p>
<p>3 介護療養型医療 施設 (廃止予定)</p>	<p>長期にわたる療養を必要とする方が入所し、介護などの世話及び機能訓練、医療サービスの提供を受けます。</p>
<p>4 介護医療院</p>	<p>日常的な医学管理が必要な重介護者の受け入れや看取り・ターミナルケア等の機能と、生活施設としての機能を兼ね備えた施設です。</p>

こうれいしゃむす  
○高齢者向けの住まい

<p>1 にんちしょうたいおうがた 認知症対応型 きょうどうせいかつかいご 共同生活介護 (グループホーム) (再掲)</p>	<p>にんちしょう かいご ひつよう かた しょうにんすう きょうどうせいかつ 認知症のために介護を必要とする方が、小人数で共同生活を おこな かいご きのうくんれん おこな を行い、介護や機能訓練などを行います。</p>
<p>2 ようごろうじん 養護老人ホーム</p>	<p>さいいじょう かんきょうじょう りゆう けいざいてき りゆうとう したく 65歳以上で環境上の理由、経済的な理由等により自宅での せいかつ こんなん かた しちょうそん そち ようご しせつ 生活が困難な方を市町村の措置により養護する施設です。</p>
<p>3 けいひろうじん 軽費老人ホーム (ケアハウス)</p>	<p>さいいじょう ふうふ ばあい さいいじょう かにかんきょう 60歳以上(夫婦の場合、どちらかが60歳以上)で、家庭環境 りゆう したく せいかつ こんなん かた にゆうしょ ていかく などの理由により自宅での生活が困難な方が入所し、低額で にちじょうせいかつ ひつよう ていきょう しせつ 日常生活に必要なサービスを提供する施設です。</p>
<p>4 ゆうりょうろうじん 有料老人ホーム (介護付き)</p>	<p>りようけん ちんたい けいたい にゆうきよ かいご ひつよう 利用権や賃貸などの形態で入居し、介護が必要になっても、 しせつ ていきょう とくていしせつにゆうきよしゃせいかつかいご りよう 施設が提供する特定施設入居者生活介護を利用しながら、 とうがいしせつ きよしつ せいかつ おこな 当該施設の居室で生活を行います。</p>
<p>5 ゆうりょうろうじん 有料老人ホーム (住宅型)</p>	<p>りようけん ちんたい けいたい にゆうきよ かいご ひつよう ばあい 利用権や賃貸などの形態で入居し、介護が必要になった場合、 にゆうきよしゃじしん せんたく ちいき ほうもんかいご 入居者自身の選択により、地域の訪問介護(ホームヘルプ) かいご りよう とうがいしせつ きよしつ せいかつ などの介護サービスを利用しながら、当該施設の居室での生活 おこな を行います。</p>
<p>6 サービス付き こうれいしゃむ じゅうたく 高齢者向け住宅</p>	<p>きよしつ ひろ せつび とう いったい じょうけん み 居室の広さや設備、バリアフリー等が一定の条件を満たし、 あんびかくにん せいかつそうだん ていきょう おこな とうろく じゅうたく 安否確認、生活相談などのサービス提供を行う(登録)住宅 きよたく がいふ じぎょうしゃ ていきょう です。居室サービスは外部の事業者が提供するサービスも りよう 利用できます。</p>